

# 2023年度夏季手当不足分の追加支給を求める

## 本部「申38号」交渉から見えた

# 誤魔化し

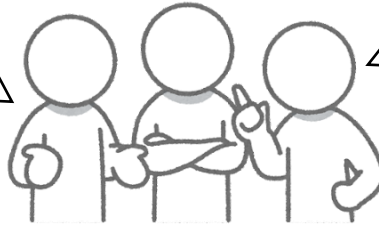


財務学習会にて

## 借金を一人あたり

## 2300万円背負った！

危機感を煽っているが、大規模投資で、有利子負債を増加傾向にさせたのは経営陣。



厳しい経営と言いつつも「役員報酬」は増加している。

本部「申38号」団体交渉の中で「社友会レクの参加費」を指摘！会社は「社友会は『社員の自主的な集まり』と言いつつ、『会社が、一定の『ルール』に基づいて『補助』を出している」ことが明らかに！

実質賃金が低下し続ける中、会社は、黒字化を実現するために、奮闘してきた社員の努力に報いることなく、夏季手当を低水準に抑えた一方で、役員報酬の増額や親睦団体への補助を行う「お金の使い方」は問題だ！全社員への還元と人への投資は、平等に行うべきだ！



### 東京エリア社友会レクの謎!!

なぜ参加費がこんな安いのか??

「東京エリア社友会通信」で掲示されたレクリエーション  
コミュニケーションボードに掲載された情報によると、7月9日(日)に社友会「竜馬」という船(東京都観光汽船の所有する観光船)を貸し切ってチャータークルーズを開催するよである。  
そしてこのレクリエーションについて、参加費が大人1000円、子供500円となっているのが「安いのではないのか」ところから補助金が出ているのではないかと指摘されているのである。  
社友会レクリエーションのチャータークルーズは平日に90分のコースである。東京都観光汽船のホームページによると、チャータークルーズの料金は1名1日90分333000円、船は300人乗りのため、最大人数に乗っても大人子供関係なく一人当たりおよそ1077円かかる計算となる。さらにその他として「サンドウィッチ等の軽食付き」・船内でイベント開催と記載がされている。

この参加費で開催できる方法を教えてもらいたい  
以上のことから考えると、仮に乗車定員115の300人が集まるとしても、大人1000円、子供500円の参加費ではまかなえない金額であることがわかる。明らかに予算オーバーである。  
私たちがよく知る組合という組合費が掛けられていれば、そこから補助金という形でまかなうことができる。なぜなら補助金という形ではまかなうことができない。なぜなら補助金ではないが、社友会には会費がない。では足りないお金はいったいどこから出ているのか。誰か特定の人間が本人の意思で冷たく多くを負担しているのか、それともまさかどこかから補助金のようなお金が出ているのか。  
もし仮に「特別価格での予約であるならばなかなかにおいお値段でのチャーターだが、是非とも教えてください」